

# 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、新たに感染力の高い変異株の検出などもあり、前年度に引き続き国民生活及び経済に大きく影響を受けた年となりました。

こうしたコロナウイルス下での販売低調が響き、国内新車販売台数は登録車及び軽自動車合わせて2019年度比で7.6%減の4,656,632台と、5年ぶりに500万台を下回りました。

また、折からの世界的半導体不足により自動車各社は減産を強いられました。

本県における新車販売台数は、登録車、軽自動車の合計で2019年度比で8.3%減の43,399台と2年連続の減少となり、リーマンショックや東日本大震災時と同じくらいの低い実績となりました。

これを受け、当協会の主要業務である自動車番号標板交付(頒布)事業は、交付(頒布)枚数が前年度比2.9%減となり、交付(頒布)手数料収益も同比2.8%、244万円程の減収となりました。

また、印紙類の売り捌き事業においては、既に織り込み済みであったものの、新車販売数の減少とともに、新車新規登録及び継続検査におけるOSSの利用拡大が進み、検査登録印紙及び自動車重量税印紙の取扱金額がそれぞれ前年度比で12.4%、11.0%減と落ち込み、これらに係る手数料収益も269万円ほどの減収となりました。

希望番号の希望率は、想定には届きませんでしたでしたが、登録自動車が30.8%、軽自動車が23.1%とそれぞれ上がり、堅調な伸びとなりました。

公益事業については、コロナウイルスの影響によりイベント等の中止が相次ぐ中、可能な限り公益目的支出計画に沿い、交通事故防止啓発を始め自動車行政の推進に寄与し健全な車社会の発展に資する取り組みへの参加・支援・啓発等を行ってきました。